

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GS エマージング・資産分散ファンド」は、エマージング株式、エマージング債券（現地通貨建て）、コモディティへ投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2020年10月15日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

償還日（2020年10月15日）		第53期	
償還価額	4,742.86円	騰落率	1.95%
純資産総額	1,700百万円	分配金合計	0円

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められております。償還運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「新規設定ファンドのお知らせ／償還ファンド一覧」⇒「償還ファンド」タブを選択⇒本ファンドの「運用報告書（全体版）」を選択



交付償還運用報告書

GS エマージング・資産分散ファンド

追加型投信／海外／資産複合

第53期（信託終了日2020年10月15日）

作成対象期間：2020年7月21日～2020年10月15日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

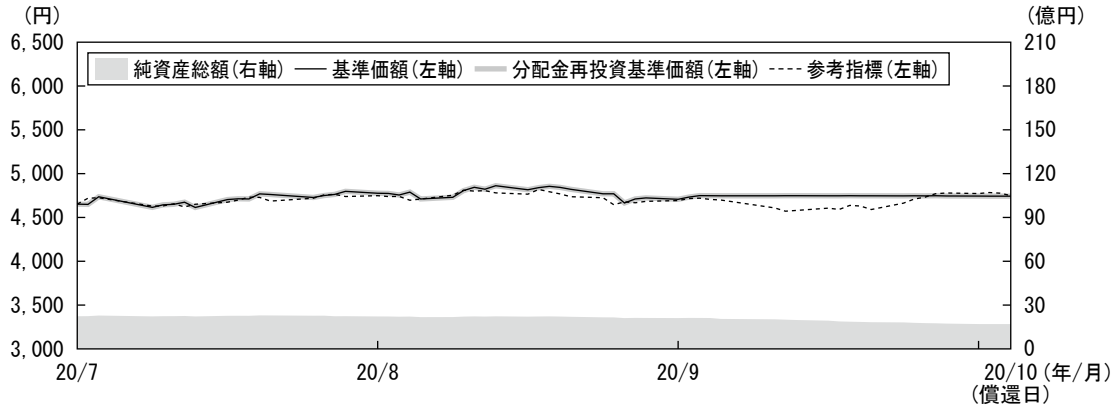
お問合せ先：03-6437-6000（代表）

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2020年7月21日～2020年10月15日）



第53期首：4,652円

償還日：4,742円86銭

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：+1.95%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ベース）50%、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）25%、S&P GSCI トータル・リターン・インデックス（円ベース）25%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の4,652円から90円86銭上昇し、償還日には4,742円86銭となりました。

上昇要因

エマージング株式市場（現地通貨ベース）やコモディティ市場（米ドルベース）が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

エマージング通貨が対円で概ね下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
エマージング株式ポートフォリオ* ¹	4.75%
エマージング債券ポートフォリオ* ²	0.57%
コモディティ・サブ・トラスト* ³	-1.55%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ I X シェアクラス
- *2 ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ I X シェアクラス
- *3 ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト・エンハンスト・コモディティ・サブ・トラスト FOF クラス

1 万口当たりの費用明細

項目	第53期		項目の概要
	2020年7月21日～2020年10月15日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	12円 (1)	0.244% (0.013)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(11)	(0.223)	
(受託会社)	(0)	(0.008)	
その他費用 (保管費用)	1 (0)	0.023 (0.010)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(その他)	(1)	(0.012)	
合計	13	0.267	
期中の平均基準価額は4,726円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

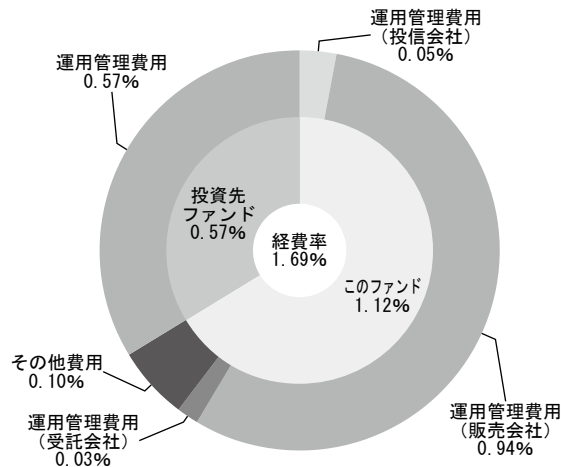
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.69%です。



経費率 (①+②)	1.69%
①このファンドの費用の比率	1.12%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

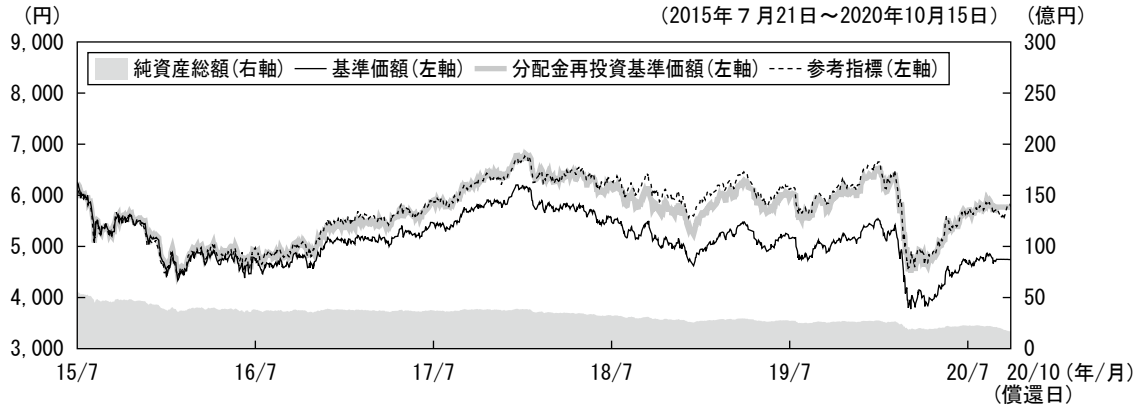
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2015年7月21日の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

	2015/7/21 決算日	2016/7/20 決算日	2017/7/20 決算日	2018/7/20 決算日	2019/7/22 決算日	2020/7/20 決算日	2020/10/15 償還日
基準価額(分配落)(円)	6,251	4,722	5,452	5,481	5,157	4,652	4,742.86
期間分配金合計(税引前)(円)	—	200	200	200	200	200	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-21.31%	20.08%	4.06%	-2.21%	-5.93%	1.95%
参考指標騰落率	—	-20.44%	18.97%	6.10%	-2.43%	-7.61%	2.10%
参考指標(エマージング株式)騰落率	—	-18.17%	30.32%	3.38%	-2.60%	2.84%	3.81%
参考指標(エマージング債券)騰落率	—	-11.70%	13.79%	-3.46%	5.87%	-3.87%	-1.72%
参考指標(コモディティ)騰落率	—	-33.79%	2.31%	21.62%	-11.49%	-31.22%	2.49%
純資産総額(百万円)	5,546	3,792	3,732	3,218	2,719	2,235	1,700

(注) 参考指標を構成する各資産の指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しており、下記のインデックスを使用しています。

エマージング株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス(円ベース)

エマージング債券：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバシファイド(円ベース)

コモディティ：S&P GSCI トータル・リターン・インデックス(円ベース)

■ 投資環境について

＜エマージング株式市場＞

当期のエマージング株式市場は上昇しました。新型コロナウイルスに対するワクチン開発の進展や米中の景況感の改善などを受けて、経済活動の回復に対する期待が高まったことなどから上昇したものの、米国や欧州の一部地域では新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されたことや、米中関係の悪化懸念などから上値の重い展開となりました。

＜現地通貨建てエマージング債券市場＞

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は上昇しました。期初はEU（欧州連合）首脳の復興基金合意や良好な米経済指標などを受けて投資家のリスク選好度が高まったことなどから上昇しました。その後は、米中関係や米国の追加経済対策の動向などに影響を受けて一進一退の推移となり、結局前期末を上回る水準となりました。国別では、ウルグアイやドミニカ共和国などが上昇した一方、トルコやブラジルなどが下落しました。

＜エマージング通貨市場＞

当期のエマージング通貨市場は、対円で概ね下落する展開となりました。通貨別では、トルコ・リラやロシア・ルーブルなどが大幅に下落した一方、メキシコ・ペソや中国・人民元などは上昇しました。トルコ・リラは、中央銀行による通貨買い支えの継続性に対する懸念が高まったほか、東地中海のガス田や、アルメニアとアゼルバイジャンの軍事衝突をめぐる地政学リスクなどがマイナス材料となりました。中国・人民元は、米中が高官級通商協議を開催するとの観測や中国の米国産大豆購入が過去最大になるとの報道に加え、8月の鉱工業生産が市場予想を上回ったほか、小売売上高がプラスに転じたことなどが支援材料となりました。

＜コモディティ市場＞

当期のコモディティ市場（S&P GSCI）は上昇する展開となりました。セクター別では、エネルギーセクターが下落したものの、農産物セクターや産業用金属セクターなどの上昇幅が相対的に大きくなりました。農産物セクターにおいては、期の後半にかけて大豆やトウモロコシ、小麦などが上昇しました。小麦については、米農務省が9月末に発表した米国の在庫が前年を下回る水準となり、合わせて米国における生産見通しが下方修正されたことなどが好材料視されました。一方で、インデックスに占める割合が大きいエネルギーセクターでは原油価格が下落する展開となりました。9月上旬にかけて、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な経済活動の停滞を背景とした需要の低迷を見込んで、サウジアラビアがアジア向け原油販売価格を引き下げたことを受けて、需要の弱さに対する懸念が高まった局面などで下落幅が大きくなりました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

エマージング株式、エマージング債券（現地通貨建て）、コモディティへの投資を通じて、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびエンハンスド・コモディティ・サブ・トラストを主要投資対象とし、資産配分は、エマージング株式50%、エマージング債券（現地通貨建て）25%、コモディティ25%を基本としました。なお、9月中旬から、繰上げ償還に向けて現金化を進めました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ＞

エマージング市場の幅広い地域の株式に分散投資を行います。エマージング市場は、経済規模拡大によって、更なる発展および拡大が期待できる市場と考えられます。同市場では、先進国との輸出を中心とした取引による外需と域内の巨大な人口を背景とした内需の両輪による高い成長力が期待される企業が多く見られます。当期も引き続きエマージング諸国の株式に投資し、株式の組入比率を高位に保ちながら、長期的なリターンを享受することをめざしました。

期中、国別では香港、インドなどをオーバーウェイトとし、中国、南アフリカなどをアンダーウェイトとしました。また、セクター別では生活必需品や一般消費財・サービスなどをオーバーウェイトとし、素材やエネルギーなどをアンダーウェイトとしました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ＞

期首においては、イスラエルやメキシコなどの現地通貨建て債券のほか、インド・ルピーや中国・人民元などの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、ルーマニアやインドネシアなどの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラや台湾ドルなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。9月半ばにおいては、イスラエルやメキシコなどの現地通貨建て債券のほか、中国・人民元やポーランド・ズロチなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、インドネシアやルーマニアなどの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラや台湾ドルなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。

＜エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト＞

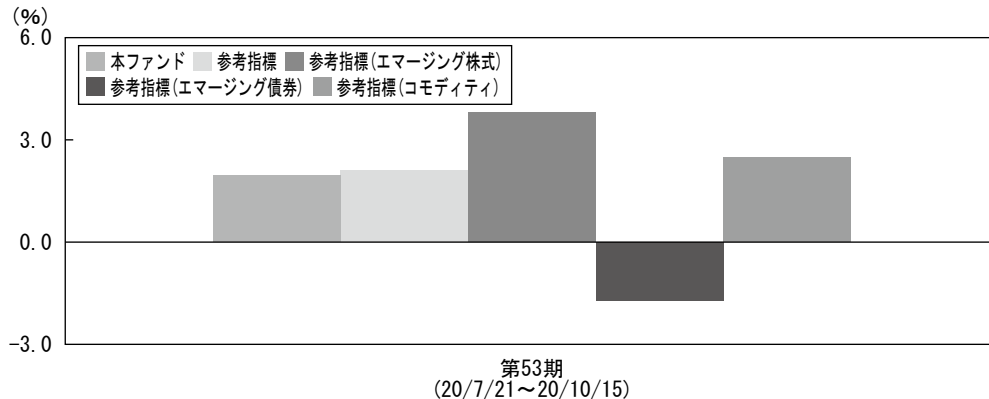
引き続き、商品指数先物取引などを利用し、S&P G S C I トータル・リターン・インデックス（米ドルベース）に連動した投資成果をめざす運用を行うとともに、米ドル建て投資適格債券を投資対象とした債券アクティブ運用を行いました。

当期のエンハンスド・キャッシュ運用はパフォーマンスにプラス寄与となりました。デュレーション戦略においては引き続き機動的にポジションを変更し、7月に米国の金利が低下した局面で米国の金利デュレーションを長期化していたことなどが、主なプラス寄与となりました。先物ロール運用については、従来通り、執行コストの管理を意識した運用を行いました。当期のロール・タイミング戦略は、エネルギーセクターのロール・タイミングをベンチマークと比較して遅らせるポジションなどがマイナス寄与となりました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+1.95%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+2.10%となりました。

以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は4,742円86銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2020年10月15日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

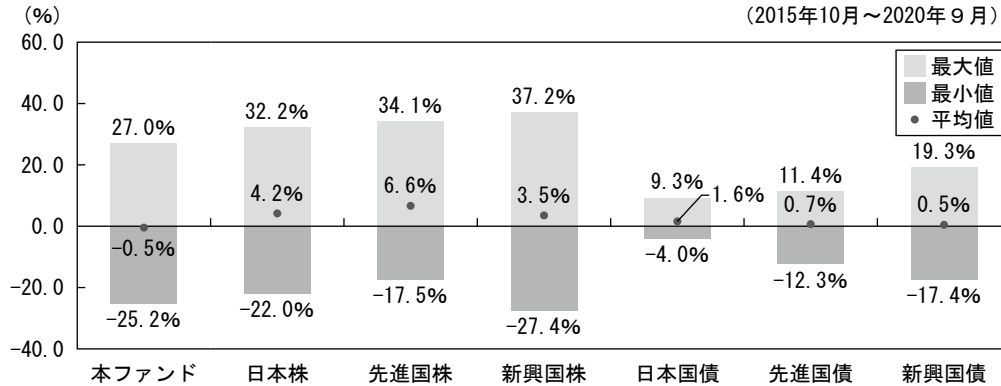
本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2020年10月15日（繰上償還日）まで
運用方針	エマージング諸国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券、米ドル建ての投資適格債券およびS & P G S C I 先物取引を行う投資信託証券への分散投資を通じて、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ ②ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ・ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト ③エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト
指定投資信託証券①	エマージング諸国の企業により発行された株式および株式関連証券
指定投資信託証券②	エマージング諸国に位置する発行体により発行された現地通貨建て債券
指定投資信託証券③	S & P G S C I 先物ないしはS & P G S C I を構成する商品先物・オプション等および米ドル建て投資適格債券等
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②実質的に保有する各資産クラスの投資比率は、エマージング株式：50%、エマージング債券：25%、米ドル建ての投資適格債券およびS & P G S C I 先物取引を行う投資信託証券：25%を基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年1月、4月、7月、10月の各20日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2015年10月から2020年9月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

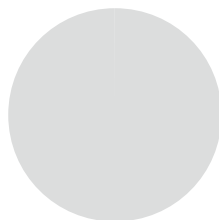
本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2020年10月15日現在）

○ 組入れファンド

有価証券等の組入れはございません。

○ 資産別配分



その他現金等
100.0%

○ 国別配分



日本
100.0%

○ 通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	償還日
	2020年10月15日
純資産総額	1,700,029,369円
受益権総口数	3,584,398,737口
1万口当たり償還価額	4,742円86銭

（注）期首元本額は4,805,375,175円、当作成期間中において、追加設定元本額は21,539,003円、同解約元本額は1,242,515,441円です。

■ 組入上位ファンドの概要

組入れはございません。